

# 阪神

ヘアラルトの学園祭の様子を

書いていただきました。

ステージ上の学生と半田さん(右下)



## ヘア・ショー

### 支局長 からの 手紙

学園祭の季節です。今回はその話題を。きっかけは、支局にかかってきた「香取さんに以前、取材してもらった半田ですが」という

「本の電話でした。ん？ 半田さん？ 誰だかすぐには思い出せなかったのですが、「丸刈りの…」と聞いて納得。ヘア・アーティストの半田まゆみさんでした。取材したのは私が前回、阪神支

局に勤務していた時。丸刈りのアーティストとして活躍していた彼女の紹介記事を書いたと思えます。それから20年近く。半田さんはこの欄の署名を見て、「もしかしてあの時の記者さん？」と想っていたそうです。

半田さんは「資格を取るためだけに学校に来るのではなく、個性を伸ばしてほしい」と話します。「見た目は派手だけど、『将来、独立したい』『店長になりたい』と、目的意識が高い学生が多いんですよ」とも。学生にも話を聞きましたが、「個性を大事にしてください」「先生がやさしい」と学生生活を楽しんでいる様子です。

半田さんは関西学院大学を出て、現代美術家の嶋本昭三さんに師事。丸刈りは、91年にカナダでネイティブアメリカンの自由のために自分の髪をばっさり切ったことから、というパフォーマンスをしながら、トレードマークの髪型は当時のままでした。

一方、半田さんによると、数年前の美容師ブームも今は下火だとか。「この業界は就職には苦勞しないんですが、これからの若い子のために労働条件を改善していきたい」。昔と変わらぬ明るい笑顔の半田さん。アーティストとともに、教育者としての顔が見えた気がしました。

今は、阪神尼崎駅近くにあるヘアラルト阪神理容美容専門学校で理事長をしています。理事長だった父親を95年の阪神大震災で亡くし、32歳で後を継いだのです。

先月19、20日、この専門学校で学園祭がありました。メインは学生によるヘア・ショー。ステージ上でヘアカットやメイクの実演をしたり、ホラー映画仕立てでファ

トも

【阪神支局長・香取泰行、イラスト】